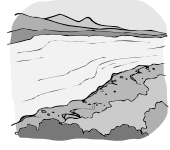


中学校給食 実施方式の変更

長年の懸案課題であった中学校給食は、学校給食法に基づき給食の実施」という目標の具現化手法を、多様な経営資源の活用を図るとして視点から、すでに明らかにしている通り、実施計画で想定していた「グループ調理弁当併用方式」から「弁当併用スクールランチ方式」に変更することになりました。これにより、コスト削減を図りつつ、17年度中に全校での実施が可能となります。



16年度中に予約システムの開発、委託業者の選定、実施に向けての準備を進めるほか、17年6月実施予定の久留米中、西中および下里中の施設工事を行うべく所要の経費を予算計上しました。17年度には、18年1月実施予定の東中、大門中、南中および中央中の施設工事も明示しました。

4 平成16年度経営方針 および予算

16年度経営方針

昨年8月、私は市の経営者として16年度の経営方針として、「住民の要望にできるだけこたえようとする」ことができる「主眼」の施策展開手法は、経済・社会が右肩上がりの時代には対応できても、右肩下がりの今日では対応できないこと「限られた財源をどう配分し、何に重点配分すれば市の基本構想が目指す東久留米市の将来像の実現に結びつく成果が上がるのか」という視点に立って、行政の役割、市の施策の範囲・水準を再構築していかねばならないこととを市役所各事業部に示しました。

そして、具体的な市政の構造改革の視点と方向として、「施策、事務事業をこれからの時代に合ったものに再構築すること」「仕事の仕方を変えること」「現場主義に基づく成果重視の執行体制に変えること」の3つを示しました。

さらに、財政フローを改善し、18年度には経常赤字体質から脱却すること」を数値目標として掲げ、併せて「財政

成果重視の人事 給与制度を整備

本年度は、協働のまちづくりを実践していくための協働の指針・ルールづくり、市民と職員を対象とした研修会、市民主体のまちづくりを支援する（仮称）まちづくりサポーターセンター設置に向けての会を継続します。

男女共同参画の推進については、本年4月から本町三丁目男女平等推進センターを移設し、専門職の配置およびドメスティック・バイオレンスを初めとする相談窓口機能を持つことで、課題解決型のセンターを目指します。

水と緑を守り 育てていくまち

都市化が進行した東京近郊にあつて、いまなお幾つかの湧（ゆづ）水個所や、その源とする数条の流れが、武蔵野の面影を残す屋敷林や農地と一体となって風情を醸し出しています。この魅力を活かすためにも知っていただくために、駅西口広場に設置したサインボードをさらに発展させ、竹林公園、いこいの水辺、南沢緑地等、魅力ポイントへ誘導案内する道標を設置します。

黒目川は、親水化整備を進めています。特に保全ゾーンとされる最上流部は一定の期間、湧水が枯渇することがあるので、より潤いのある空間

予算編成指針と 予算の概要

16年度は、市行財政体質の構造改革を実施する年度と位置付け、16年度経営方針における財政改革の基本方針、すなわち「予算編成に係る枠配分方式の拡大」「行政評価結果を踏まえた事務事業の改善・改革」および「財政フロー・財政ストック両面の改善」を踏まえ、編成しました。

この結果、一般会計の総額は359億7300万円（前年度比6.8%増）の伸びとなりました。

16年度は、市行財政体質の構造改革を実施する年度と位置付け、16年度経営方針における財政改革の基本方針、すなわち「予算編成に係る枠配分方式の拡大」「行政評価結果を踏まえた事務事業の改善・改革」および「財政フロー・財政ストック両面の改善」を踏まえ、編成しました。

この結果、一般会計の総額は359億7300万円（前年度比6.8%増）の伸びとなりました。

16年度は、市行財政体質の構造改革を実施する年度と位置付け、16年度経営方針における財政改革の基本方針、すなわち「予算編成に係る枠配分方式の拡大」「行政評価結果を踏まえた事務事業の改善・改革」および「財政フロー・財政ストック両面の改善」を踏まえ、編成しました。

この結果、一般会計の総額は359億7300万円（前年度比6.8%増）の伸びとなりました。

市民の皆さんと行政が力を合わせて！



市民の皆さんと行政が力を合わせて！ (昨年秋の市民みんなのまつり風景から)

このため、社 会福祉審議会 から今後いた だく予定の最 終答申を踏ま え、市民、社 会福祉法人 NPOなどの 協働に重点 を置いた地域 福祉計画とし て16年度に改 定します。

このため、社 会福祉審議会 から今後いた だく予定の最 終答申を踏ま え、市民、社 会福祉法人 NPOなどの 協働に重点 を置いた地域 福祉計画とし て16年度に改 定します。

高齢者の生 活援助、相談、 助言や機能訓 練を行う施設 としての（仮称）幸町老人テ イサービスセンターは、幸町 都営住宅建て替え計画に併せ て、18年4月に開設を予定し ています。16年度から2年間 施設整備費負担金を計上しま した。

一人暮らしの高齢者や高齢 者だけの世帯が地域の中で自 立した生活ができるよう生活 協力を配置した高齢者用住 宅（シルバーピア）は、都営 住宅の建て替えに併せ順次確 保してきました。中央町都営 住宅が16年11月入居開始の見 込みとなったので、開設に向 けての初年度調整等の経費を計 上しました。

（仮称）保健福祉総合セン ターは、本年3月末で廃校とな る滝山小学校跡地施設をリ ニューアル活用する計画で、 昨年行った耐震診断の結果、 南校舎の一部の軽微な補強で 済むことが判明したので、16

今年度には提案していただきます。 条例が可決された暁には、具 体的に推進するための環境基 本計画の策定を予定し、その 経費を計上しました。

今年度には提案していただきます。 条例が可決された暁には、具 体的に推進するための環境基 本計画の策定を予定し、その 経費を計上しました。

安心・安全な暮らしの確保 については、市民が安心して 暮らすことができるまちづく りを進めるための市民懇談会 を設置し、条例制定に向け取 り組みます。

みちづくり・まちづくり パートナー事業として都から 委託を受けている都市計画道 路東3・4・19号線は、中央 図書館から市道210号線に 至るまでの間の用地買収が16 年度中に完了する見込みであ り、17年度に築造工事を行う べく実施設計を行います。

南沢五丁目地内にあつた3 つの大型空地を中心とした 地区は、都市計画マスタープ ランでは流通業務地区と位置 付けていましたが、その2つ はすでにマンションに転用さ れてしまいました。そこで、 残る旧第一勧銀グラウンド跡 地は、法定地区計画を定め、 都市計画マスタープランに 沿った土地利用に計画的に誘 導する考えです。

公共下水道（汚水）は、ほ ぼ全域普及していますが、全 体の22.7%に当たる55.8 キロメートルの管渠（きょ）は、整備 後30年が経過し、再整備が必 要になっています。そこで、 今後の再整備に向け基本計画 を策定すべく、公共下水道改 築更新に係る調査を行います。 また、17年度に事業の変更認 可を取得することが必要とな るため、本年度、それに必要 な既設汚水管渠に関する再調 査も行います。

大雨が降った際に溢水する 個所の改善については、16年 度は大門大橋付近の市道10 93号線の雨水排水整備工事 を行います。

計画の推進

現在空白となっている18年 度以降の後期基本計画の策定 に当たっては、行政評価制度 の展開と連動した重点的、戦 略的な計画を目指し、16年度 から策定作業を行い、17年 9月に次期実施計画とともに公 表する予定で、市民意向調査 意見公募などによる市民意向 の聴取のほか、シンポジウム も予定しています。また、17 年4月には中間取りまとめを 公表して、市民意見を募集す る予定です。

また、電子自治体を低コス トで実現するために、都と区 市町村が共同でシステムの開 発・運用をする「東京電子自 治体共同運営協議会」を設立 しています。同協議会では、 16年度末から電子申請および 電子調達のサービスを提供す ることになっており、本市で もこのサービスの利用を予定 しています。

入札改革については、業者 の入札参加意思をよりの確に 反映させ、透明性・公平性・ 競争性を高めるため、工事請 負にかかる希望制指名競争入 札を16年度までできるだけ早 い時期に制度化する予定です。

おわり

私は、市民が安全な環境の 下で、安心して生活が送れる ようにすることに心がけて、 優先する行政課題であろう と思っています。井戸を掘る なら水の湧くまで掘れ」とい う格言があります。これは 事を成すに当たっては、それ を最後まで遂げようとする決 意が大切であるという意味で す。私は、極めて困難な状況 にある東久留米市を再生する ために、身を賭す覚悟です。 「地域の課題を解決する答 えは必ず地域にある」との課 題を解決できるのは私たち東 久留米市民しかないのだ」と 申し上げたい。一つ一つの 事務事業についてそれぞれ思 いやお考えがおりでしょう が、高い見地から大局を見て いただき、この危機を乗り越 えることが、将来の市民に対 する私たちの責任ではないで しょうか、16年度がターニン グポイントだった」と将来の 人々に評価してもらえよう。 財政改革と行政改革を進めて いきます。

市議会の皆様、ならびに市 民の皆様のご理解とご支援を 賜りますようお願いいたします。

可取得することが必要とな るため、本年度、それに必要 な既設汚水管渠に関する再調 査も行います。

可取得することが必要とな るため、本年度、それに必要 な既設汚水管渠に関する再調 査も行います。

大雨が降った際に溢水する 個所の改善については、16年 度は大門大橋付近の市道10 93号線の雨水排水整備工事 を行います。

計画の推進

現在空白となっている18年 度以降の後期基本計画の策定 に当たっては、行政評価制度 の展開と連動した重点的、戦 略的な計画を目指し、16年度 から策定作業を行い、17年 9月に次期実施計画とともに公 表する予定で、市民意向調査 意見公募などによる市民意向 の聴取のほか、シンポジウム も予定しています。また、17 年4月には中間取りまとめを 公表して、市民意見を募集す る予定です。

また、電子自治体を低コス トで実現するために、都と区 市町村が共同でシステムの開 発・運用をする「東京電子自 治体共同運営協議会」を設立 しています。同協議会では、 16年度末から電子申請および 電子調達のサービスを提供す ることになっており、本市で もこのサービスの利用を予定 しています。

入札改革については、業者 の入札参加意思をよりの確に 反映させ、透明性・公平性・ 競争性を高めるため、工事請 負にかかる希望制指名競争入 札を16年度までできるだけ早 い時期に制度化する予定です。